

<p>業務の実施方針及び手法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●市が掲げる目標「誰もが健やかに生き生きと暮らしているまち」「すべての市民の健康づくりを総合的に支援する拠点施設」、健康増進を推進し地域の医療機関を繋げる「日本一子育てをしやすいまち」の保健センターの実現を図るために、あらゆる世代の市民が訪れ・話し・安心でき・元気になれる「健康拠点」として計画。 ●だれもが訪れやすい健康拠点とするため、計画地を含めた周辺を「みんなのまち」として利用しやすい環境を整備。戦略的賑わい交流エリアとして周辺施設が、互いに連携・つながる「みんなのまち」づくりによりシティセールスに貢献。 ●コンパクトな複合施設とするためにファシリティマネジメント視点による計画立案。 ●マイルストーンを定めたスケジュール管理により、様々な関係者と円滑に業務を実施。建設検討委員会や作業部会に加えて、機能別ワーキンググループを開催。 ●複合施設の設計経験のあるメンバーを含む機動力のある設計チーム。 ●市民に信頼され、地域から愛される施設とするために、地域住民やNPOを含めた市民ワークショップを企画し、親しまれ愛着のもてる健康拠点とするとともに、ウォークアブルで賑わいのある「みんなのまち」の魅力を高めて、愛着や誇りを持続させられる取組みを提案。
<p>評価テーマに対する提案</p>	<p>建物、外構に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「みんなのまち」として周辺を含めた良好な景観の創出と「訪れ・話し・安心でき・元気になる」環境を実現するため、人や活動がにつながる広場や遊歩道、関連施設との連携に配慮した駐車場やアプローチを計画。 ●「みんなのまち」と「健康拠点」の接点として「豊川ひろば」「八幡のにわ」を設置。 ●「豊川ひろば」「八幡のにわ」に連続して、外から中の活動が見える開放的に設えた市民が気軽に利用できる「わいがやプラザ」と研修室を配置。 ●「わいがやプラザ」を中心に各機能を来所者の特性と連携に配慮して配置。 ●各機能の利便性、機能性、快適性等に配慮した駐車場や「屋外遊技場」、中庭などの外構計画により安全かつ機能的なで市民が活動しやすい複合施設を実現。
	<p>保健・福祉・医療に係る複合施設の整備に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●7つの機能の特性に配慮し、複合化を最大限生かすフロア構成とゾーニング。 ●妊産婦支援、健康診査、教育・相談で訪れた際には、情報発信や市民交流の場となる「わいがやプラザ」を通ることで、より健康への意識を高める機会を提供。 ●プライバシーが必要な児童発達支援と、休日夜間の利用となる医療は専用アプローチを確保。 ●庁舎機能は将来変化に対応できるフレキシビリティを供えた無柱空間にて整備。 ●研修室を1階に設けることで、多目的な活用に配慮。 ●感染症対策として専用待合と専用駐車場を設け明確に区画。研修室はまん延時には診察や集団接種会場として、災害時には三師会の災害対策本部として活用。
	<p>人にやさしく、環境に配慮した施設整備に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●全ての市民や職員が利用しやすい「ユニバーサルな施設」を計画。 ●建物を南北に貫く「わいがやプラザ」にはエレベーターと階段を設置し、目的の部屋にわかりやすくスムーズに誘導。 ●「わいがやプラザ」は建物内の自然換気を促す風の通り道としても有効。 ●職員用階段を適切に配置し、迅速に移動可能な機能性、効率性に配慮。 ●各機能における来所者の特性に配慮した施設と設備を計画。 ●豊川の気候と風土を丁寧に読み取り、確実に省エネ・創エネを実施。 ●ZEB Readyを目指し、将来的にはNearby ZEBを段階的に整備。カーボンニュートラルの観点も大切に施設づくり。
	<p>低コストで、コンパクトな施設に関する提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ICTによりコンパクトでありながら、各機能に利用可能な施設計画。 ●既存の公共施設予約システムとも連動可能なCloud型の予約システム。その場で室の予約状況が把握でき、スマートロックで利用者が解錠できるシステム導入。 ●WEB会議システムで会議室をつなぐことで、あらゆる規模の会議・研修に対応が可能となり、適正な会議室の規模を実現。 ●ICタグを貼付け、デジタル化された平面図と連動する施設管理システムを提案。 ●市況や新技術を反映した提案を、効果の高い基本設計段階から実施。 ●多様なコスト削減技術や省エネ・環境技術、維持管理手法、長期修繕計画を組み合わせることで、ライフサイクルコストを大きく削減。
<p>参考見積金額 (消費税等込み)</p>	<p style="text-align: center;">118,800,000円</p>

※ 技術提案書及び参考見積書の内容について、その概要を様式第5号別紙（A4版1枚以内）に写真や図表を使用せず、簡潔明瞭に箇条書きでまとめてください。